

2020 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月 17日
研究・研修課題名	認定褥瘡作業療法士の資格更新における研修補助
研究・研修組織名(所属)	リハビリテーション部
研究・研修責任者名(所属)	佐藤千晃(リハビリテーション部)
研究・研修実施者名(所属)	佐藤千晃(リハビリテーション部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	佐藤千晃(リハビリテーション部)
学会名(会期・場所)、認定名等	・第22回日本褥瘡学会学術集会 (2020年9月11-12日・オンライン参加) ・第21回日本褥瘡学会中国四国地方会学術集会 (2021年2月28日・(松江市)島根県民会館)
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

認定褥瘡作業療法士とは、日本褥瘡学会が定める所定の過程を修了し、褥瘡の予防・医療を実施するための適切な知識・技術を有していることが条件の認定資格である。現在認定褥瘡作業療法士を取得しているのは全国で6名であり、我が県においては、1名のみである。認定資格を有していることによって、より専門的な知識・技術を院内の他職種へ助言が可能となっている。また院内のみでなく、県内の医療・介護職への普及活動や医療職の知識・技術の向上にも認定資格は有用なものである。資格更新条件として、毎年10ポイント以上、5年間に80ポイント以上を取得する必要があるため、今回、学会参加を含めたポイント取得を目的とする。

②方法

当院リハビリテーション部 作業療法士1名が全国学会に参加を行い、資格更新に必要なポイント取得を目指す。

- ① 日本褥瘡学会学術集会参加《兵庫(オンライン参加)》2020年9月11～12日(金土)
- ② 日本褥瘡学会中国・四国地方会学術集会《島根》2021年3月初旬予定(土日)

上記の研修会に参加することにより、資格更新に必要なポイントを30ポイント取得可能である。

③成果

第22回日本褥瘡学会学術集会では、COVID-19の影響により全面オンライン開催となった。しかし、予定されていた学術内容は変更なく、「褥瘡学は市民権を得る」というテーマで非常に多くの多分野からの講演があった。特に本学会については、副会長がリハビリテーション分野の専門家であり、我々リハビリテーションについての講演・セッションが多く組み込まれていた。特にベッドや車椅子における姿勢変換角度について医師・看護師・リハ職が互いの視点を共有し、対策を講じる方向性のコンセンサスが得られた。本学会参加により更新に必要なポイントを20ポイント取得した。

(様式1)

第21回日本褥瘡学会中国四国地方会学術集会では、会場とオンラインのハイブリッド形式での学会であり、地域における褥瘡管理について学ぶことができた。他県でも病院に勤務している褥瘡エキスパートが地域に出向き、治療・対策の取り組みの紹介や近年褥瘡との関連性が言われている IAD (incontinence-associated dermatitis: 失禁関連皮膚炎) について知識を深めることができた。本学会参加により更新に必要なポイントを10ポイント取得した。